

朝鮮民主主義人民共和国

国防委員会 第一委員長 金正恩 閣下

抗議

12月12日に貴国は、わが国を含む関係各国が強く自制を求めてきたにもかかわらず、「人工衛星」と称するミサイルを発射したとの報に接しました。

本年4月13日に引き続き発射は、わが国のみならず北東アジア地域や国際社会の重大な脅威となる暴挙であり、到底容認することはできません。

4月16日の国際連合安全保障理事会にて全会一致で採択された議長声明において、すべての核兵器及び既存の核計画を廃棄し関連活動を中止すること、及び弾道ミサイル技術を使用したいかなる発射も実施しないことを義務付けた安保理決議を直ちにかつ完全に遵守することが要求され、さらなる発射または核実験の場合にはこれに応じて行動をとる決意が表明されました。

しかし、貴国は国際社会での強烈な批判と平和を求める人々の声を無視し、この度再び弾道ミサイル技術を使用した発射を強行しました。

1985年に「世界平和都市宣言」を行い、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を希求する尼崎市民の代表として、今回の貴国の行為に強く抗議するとともに、今世紀を戦争や核兵器のない平和な世紀にするために、貴国がこれ以上核実験または弾道ミサイル技術を使用した発射を行わないよう、再度強く要請いたします。

2012年12月12日

日本国尼崎市長 稲村和美

